

2026 年度 日本学生支援機構 貸与奨学金 在学採用(秋学期)の申請について【学部生対象】

日本学生支援機構貸与奨学金は勉学に励む意欲があり、ふさわしい能力を持った学生が、経済的理由によって修学をあきらめることがないように支援することを目的として国が実施する制度です。

貸与奨学金には、第一種(無利子)と第二種(有利子)があり、毎月定められた金額が学生の口座に振り込まれ、卒業後に返還するものです。選考基準を満たしていれば両方の貸与を受ける(=併用貸与)こともできます。

原則、修業年限(4 年間)まで貸与を受けることができますが、毎年12月中旬頃「継続願」入力手続きがあります。入力後継続審査があり、成績基準等を満たしていないと廃止となり、貸与は継続できません。

※今回申請しても、秋学期の学費納付期限(10/25)には間に合いません。

【申込資格】

- ・新規で、日本学生支援機構奨学金の「貸与奨学金」を申込したい学生
- ・現在、日本学生支援機構貸与奨学金を貸与中の学生で、「貸与奨学金」の追加または移行を希望する学生

※大学等への進学後新規に在学採用で奨学金を申し込む方向けの、奨学金制度の概要や申込み手続き等の内容について、動画も併せて確認してください。

👉 [【在学採用】奨学金を希望するみなさんへ（全体版）](#)

学力基準

※2026 年秋学期に休学、留年をしていない方

- ・関東学院大学が定める学力基準を満たしている方
- ・4 年生は卒業見込みが出ている方

《第一種・併用貸与の学力基準》

- ◆ 1年生: 高校評定平均 3.5 以上であること
- ◆ 2年生: 本人の属する学部上位 1/3 以内であること。

※生計維持者(父母。父母がいない場合は代わって家計を支えている人)の住民税の「所得割額」が 0 円、生活保護受給世帯、社会的養護の方で、以下のア又はイのいずれかに該当する方は、上記基準外でも対象となります。

ア. GPA 等が在学する学部等における上位 1/2 の範囲に属すること。

イ. 修得した単位数が標準単位以上で、将来社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有することが確認できること。

《第二種学力基準》

◆1年生 : 高校評定平均水準以上であること

◆2年生以上 : 下記の単位数を修得していること

※既に「第一種貸与奨学金」の貸与を受けている方が、第二種貸与奨学金を追加し併用貸与希望の場合、第一種の学力基準以上であること

学 部	卒業 位 数 要 件 単	申込時のセメスター(セメスター開始時点での修得単位数)																	
		1年次				2年次				3年次				4年次					
		1セメ 開始時点		2セメ 開始時点		3セメ 開始時点		4セメ 開始時点		5セメ 開始時点		6セメ 開始時点		7セメ 開始時点		8セメ 開始時点			
		標準修得単位数 (124/130)		15.5/16.25		31/32.5		46.5/48.75		62/65		77.5/81.25		93/97.5		108.5/113.75			
一種		二種		一種		最低単位		一種		二種		一種		二種		一種		二種	
国際文化学部	124	高 校 評 定 平 均 値 3.5 以 上	高 校 成 績 平 均 水 準 以 上	高 校 評 定 平 均 値 3.5 以 上	高 校 成 績 平 均 水 準 以 上	22		32		43		58		卒 業 見 込 み が 出 て い る こ と		卒 業 見 込 み が 出 て い る こ と			
社会学部						22		32		43		58							
経済学部	22					32		43		58									
経済学部 特別履修選択者	22					32		43		58									
経済学部(ゼミナール非履修生)	22					34		46		57									
経営学部	124					22		32		43		58							
経営学部(ゼミナール非履修生)	130	22		34		46		57											
法学部	124	22		32		43		58		出 て い る こ と		出 て い る こ と							
理工学部	124	3.5		3.5		22		32						50		74			
情報学部		以		以		上		上						上		上			
建築・環境学部		上		上		上		上						上		上			
人間共生学部	124	22		32		43		54		こ と		こ と							
教育学部		22		32		43		54											
栄養学部		22		32		43		54											
看護学部	124	22		32		43		54											

家計基準

・家計基準に該当していること。

👉 家計基準は 2025 年分の生計維持者(父母等)の収入金額/所得金額での選考となります。

■ 貸与奨学金を申請する場合、必ず家計基準内であることを「進学資金シミュレーター」の QR コードから確認をしてください。

🔗「進学資金シミュレーター」

【第一種家計基準】

【第二種家計基準】

【第一種+第二種併用家計基準】



【貸与月額】

奨学金種別	自宅通学者	自宅外通学者
第一種奨学金 (無利子)	20,000 円、30,000 円、40,000 円、 54,000 円から選択	20,000 円、30,000 円、40,000 円、 50,000 円、64,000 円から選択
第二種奨学金 (有利子)	20,000 円、30,000 円、40,000 円、50,000 円、60,000 円、70,000 円、 80,000 円、90,000 円、100,000 円、110,000 円、120,000 円から選択	

※秋学期申請では入学時特別増額貸与奨学金(有利子・一時金)は申請できません。

■給付奨学金を同時に利用する方は、以下のように第一種貸与奨学金が併給調整されます。

学校種別・給付奨学金の区分			私立		学 種	支援区分	私立	
			自宅通学	自宅外通学			自宅通学	自宅外通学
大学	第Ⅰ区分		0円	0円	大 学	第Ⅰ区分（多子世帯）	0円	0円
	第Ⅱ区分		0円	0円		第Ⅱ区分（多子世帯）	0円	0円
	第Ⅲ区分		21,700円 (20,000円、30,300円)	19,200円		第Ⅲ区分（多子世帯）	0円	0円
	第Ⅳ区分	多子世帯	0円	0円		第Ⅳ区分（多子世帯）	0円	0円
		理工農系	20,000円、34,500円 (20,000円、30,000円、44,500円)	20,000円、 30,000円、44,500円		多子世帯 ※1	0円	5,600円

【その他】

- ・申請後、内容に不備なく採用となった場合、12月11日（金）初回振込となります。
- ・質問等は下記、日本学生支援機構ホームページの「よくあるご質問」を参照のこと。

👉＜貸与奨学金（返済必要） | JASSO＞

※なお、申請書類は 9/16(水)から 10/9(金)までに各キャンパス奨学金窓口、室の木キャンパス学生支援室にて配布いたします。申請を希望する学生は、お越しください。

2026 年度 日本学生支援機構 貸与奨学金 在学採用(秋学期)の申請について【大学院生対象】

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ学生等が安心して学べるよう支援する制度です。

【申込資格】

大学院等への進学後に在学採用で奨学金を申請する方向けに、奨学金制度の概要や申込み手続き等の内容について、動画も併せて確認してください。

👉 <奨学金を希望する皆さんへ_字幕有り (stream.co.jp)>

<家計基準>

- ・家計基準に該当していること。

👉 家計基準は学生本人の収入と配偶者の定職収入の金額の合計額が、選考の対象となります。

(単位：万円)

(収入基準額) 家計基準	奨学金の種類	修士課程相当	博士課程相当
	第一種奨学金	299	340
	第二種奨学金	536	718
	併用貸与	284	299
本人及び配偶者（配偶者は定職収入がある場合のみ） 2025 年分（1月～12月）の収入金額が、該当の収入基準額以下であることが必要です。なお、配偶者が給与所得者の場合は、配偶者のみ下表の【参考】給与所得控除をしたうえで、本人の収入金額と合算します。			

【その他】

- ・「在学採用(秋学期)」で奨学金を申請しても、秋学期の学費納付期限(10/25)には間に合いません。申請後、内容に不備が無く採用となった場合、12月11日(金)初回振込となります。
- ・質問等は下記、日本学生支援機構ホームページの「よくあるご質問」を参照のこと。

👉 <貸与奨学金(返済必要) | JASSO>

【貸与月額】

奨学金種別	前期博士課程	後期博士課程
第一種奨学金 (無利子)	50,000 円、88,000 円から選択	80,000 円、122,000 円から選択
第二種奨学金 (有利子)	50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円から選択	

※なお、申請書類は9/16(水)から10/9(金)までの間に奨学金窓口にて配布いたします。

申請を希望する学生は、奨学金窓口へお越しください。